

平成25年度文化庁委託事業

「国語に関する世論調査」を基にした動画作成業務

「ことば食堂へようこそ！」

琴線に触れる

映像台本

4分34秒

※ この台本は、撮影時に使用したのですが、アドリブ等が加わっているため、実際の動画の台詞とは一部異なっているところがあります。また、台本という性格上、公用文式の表記と一致しない部分があります。

琴線に触れる

稽古場/監督:森下 じんせい 役者男:川原田 樹 役者女:松本 さやか

映像	カット	音声
プロローグ		
<p>1 スタジオ・ことば食堂</p> <p>・解説者:シェフあかり 板付き 話し始める</p> <p>・本日のメニューを書く 顔・手元</p> <p>・書き終わって, コメント</p> <p>・タイトル (ボードの手書き文字)</p> <p>・本日のメニュー 『琴線に触れる』</p>		<p>♪コミカルな音楽</p> <p>解説者</p> <p>「ことば食堂へようこそ!</p> <p>当店では, 言葉の本来の意味を御提供しております。 皆さん, 知っているようで, 知らないって言葉って, 結構あるんじゃないですか?</p> <p>本日のメニューはこちら!</p> <p>『琴線に触れる』。」</p>
スキット		
<p>2 スタジオ・稽古場</p> <p><稽古場:監督と役者の会話></p> <p>・男女の役者と長テーブルにいる監督</p>		<p>監督「では次のシーン。 ゆう子の行動があきらの琴線に触れた場面ね。 よーい, はい!」</p> <p>役者女:ゆう子「いつまでも待っているわ…。」</p> <p>役者男:あきら「(怒りを抑えて)ゆう子, 今の言葉, 心の琴線に触れたぞ!」</p> <p>監督「待った!違う!」</p> <p>役者男:あきら「はい, すみません(首をかしげる)。」</p> <p>監督「もう一回, 自分の気持ちをよく考えて! よーい, はい!」</p>

	<p>役者女：ゆう子「いつまでも待っているわ…。」</p> <p>役者男：あきら「(怒りあらわにして) ゆう子, 今の言葉, 心の琴線に触れたぞ!」</p> <p>監督「待った!…だから, 違うよ…。」</p> <p>役者男：あきら「はい, すみません (首をかしげる)。」</p> <p>監督「『琴線に触れる』だよ。感情で演じないとダメだよ。よーい, はい!」</p> <p>役者女：ゆう子「いつまでも待っているわ…。」</p> <p>役者男：あきら「(激怒して) ゆう子, 今の言葉, 心の琴線に触れたぞ～! (ゆう子に襲い掛かる。)」</p> <p>監督「待った!…」</p> <p>役者男：あきら「…すみません (首をかしげてから, 怒りを表す, 雄たけびをひたすら練習する)。」</p> <p>監督「…。」</p>
--	--

解説 (1分10秒)

<p>3 スタジオ・解説者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面左で解説者:シェフあかりが話す ・解説者の横にメニューが出る <p>怒りを買ってしまうこと</p> <p>感動や共鳴を与えることと書いてある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動や共鳴を与えることを強調 <p>4 写真付きイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役者の怒りを買ってしまうこと <p>35. 6%</p> <p>監督の感動や共鳴を与えること</p> <p>37. 8%</p>	<p>解説者「『琴線に触れる』とは本来, 『怒りを買ってしまうこと』という意味でしょうか? それとも『感動や共鳴を与えること』という意味でしょうか?」</p> <p>解説者「『琴線に触れる』とは, 本来『感動や共鳴を与えること』という意味です。」</p> <p>解説者「平成19年度の『国語に関する世論調査』でその意味を聞いたところ, 『感動や共鳴を与えること』と回答した人と本来の意味ではない『怒りを買ってしまうこと』と回答した人の割合に大きな差はありませんでした。」</p>
---	---

<p>5 解説者の右横に CG 文字</p> <p>『琴線』 = 『琴の糸』</p> <p>→ 『物事に感動する心の奥の心情』</p> <p>『琴線に触れる』</p> <p>『^{げきりん}逆鱗に触れる』も示し、『触れる』が共通していることを明示する。</p> <p>・ボード文字</p> <p>『琴線に触れる』</p> <p>『感動や共鳴を与えること』</p>	<p>解説者「『琴線』は、元々は琴の糸のことです。</p> <p>それを、物事に感動する心の奥の心情を表すものとして比喩的に用いた表現です。」</p> <p>解説者「『怒りを買ってしまうこと』という意味での用法が広がっている理由としては、『逆鱗に触れる』という言葉との混同などがあると考えられるでしょう。」</p> <p>「『琴線に触れる』。その本来の意味は、『感動や共鳴を与えること』です。」</p>
<p>6 スタジオ</p> <p>・解説者の右奥から</p> <p>役者男：悩むあきらが来る</p> <p>・解説者 正面を向き、あきれ顔</p>	<p>役者男：あきら「(悩みながら) 心の琴線に触れられたときの怒りの表現ってどうすればいいんだろう…。」</p> <p>解説者「… (笑顔でいる)。」</p> <p style="text-align: right;">END</p>